

令和3年度第2回大分県総合教育会議次第

令和3年10月27日（水）
15：30～16：50
県庁舎本館4階第一応接室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 地域とともにある学校づくりについて

(2) スペースポート構想と教育との連携について

4 報告事項

(1) 特別支援学校の再編整備の進捗状況について

5 閉会

学校 コミュニティ・スクール

(学校運営協議会を設置した学校)

【県内の設置状況(R3. 8現在)】

- ・小中学校309校/367校 (84.2% R2全国平均30.7%)
- ・県立高校2校

学校運営協議会

地域と目標やビジョンを共有

＜メンバー＞

【学 校】 校長、教頭

【保護者】 PTA会長、PTA役員等、

【地 域】 民生委員、区長、自治委員

地域学校協働活動推進員

(「協育」コーディネーター) 等

熟議



＜協議内容＞

- どんな子供を育てるか？
⇒ 目指す子供像の共有
- 学校の教育活動をどうするか？
⇒ 社会に開かれた教育課程
- 地域の活動をどうするか？
⇒ 地域の教育力の向上、地域活性化

目指す効果

- ⇒ 地域の協力や参画の促進
- ⇒ 地域と一体となった特色ある学校づくり



地域学校協働活動推進員が委員として参画

地域 「協育」ネットワーク

地域住民が地域の子供を守り育てる仕組み

学校

【学校における地域学校協働活動】

- ・学習支援
- ・環境整備
- ・読み聞かせ
- ・部活動支援
- ・登下校の見守り
- など

小学生チャレンジ教室

- ・主に小学生を対象
- ・放課後の安心安全な居場所
- ・地域での体験活動や学習支援

放課後・休日

切れ目のない支援



家庭

【家庭教育支援】

- ・保護者を対象にした学習機会の提供
- ・情報誌作成等による情報の提供
- ・子育て支援

未来創生塾

- ・小中学生を対象
- ・平日の放課後や土曜等の補充学習
- ・長期休業中の集中講座等

参画



地域学校協働活動推進員（「協育」コーディネーター）

・地域住民と学校つなぎ役（地域と学校の情報共有、地域ボランティアの指導）

地域ボランティア

保護者、退職教員、有資格者、自治委員、民生・児童委員、婦人会、老人会、読書グループ、企業、大学、各種機関

学校と目標やビジョンを共有



目指す効果

- ⇒ 子どもの学力向上と豊かな心の育成
- ⇒ 地域の教育力の向上 ⇒ 「地域住民の生きがいの創出」

趣旨 統括的な地域学校協働活動推進員（以下、「統括推進員」という。）を配置し、主に中学校区におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働本部の連携・協働を活性化した取組をモデル的に実施する。



モデル市における取組例

別府市の取組

■学校に地域学校協働活動推進員を配置



地域学校協働活動推進員連絡会の様子

- ◇中部中学校に統括的な地域学校協働活動推進員 中学校区内の小学校2校に推進員を配置
- ◇地域学校協働活動推進員連絡会実施（月1回）

- ◇連携・協働の促進
- ◇学校側の理解促進
- ◇推進員間のつながり強化

■中部子ども応援プロジェクトを設置 …多様な地域学校協働活動企画・運営

◇学校・家庭・地域の役割や責任の明確化

地域住民の参画による活動を検討・企画・運営

- ◇子どもの豊かな心の育成
- ◇子どもの諸課題の解決
- ◇地域住民の生きがい創出

<中部中学校での地域学校協働活動例>

- ◇キャリア教育の支援
- ◇学習支援(3年生対象)
 - ・放課後学習教室(週2日実施)
 - ・夏休み学習会(10日間実施)
- ◇読み聞かせ(8回実施)
- ◇不登校生徒の支援
 - ・登校支援ルームの支援



職業講演会の様子
アフリカサファリの神田園長による講演

日田市の取組

■地域の消防団と連携した防災教育

- ◇消防車の体験や地震時の対応等について学習



消防車乗車体験

由布市の取組

■地域人材活用研修会実施

- ◇推進員（地域）と担当教員（学校）合同の研修会 ⇒ 学校の理解、連携・協働の促進 ⇒ 地域学校協働活動の充実



研修の様子

杵築市の取組

■地域と連携した避難訓練

- ◇地域の防災士等が学校と協働して避難経路を作成
- ◇地域住民が、防災バッグや防災頭巾を児童1人1人に準備



地域の防災士による講話

宇佐市の取組

■コロナ禍における地域と連携した教室

- ◇地域の漁協と連携したオンライン水産料理教室を実施



料理教室の様子

○地域との協働を進めるための具体的な取組

(1) 県教育委員会における取組

① OITA仕事発見・夢発見事業(R3～)

- ・中高生が合同で地元の企業を訪問し、働く人の思いや、自分や大分の未来について考えたこと等を動画で発信（県内全ての中学校・高校に配布）

② OITAふるさと学習交流会

- ・各地域の代表中学校生徒が一堂に会し、ふるさと学習の成果を発表
※地域での職場体験、ジオパーク、世界農業遺産等、地域の教育資源を活用

【モデル3地域(R3年度)】

豊後大野市：三重総合高校－市内中学校
豊後高田市：高田高校－市内中学校
佐伯市：佐伯豊南高校－市内中学校



OITAふるさと学習会
* リモートによる開催(R2年度)

(2) 学校における取組(総合的な学習の時間等)

① 日田市立五馬中学校(防災教育)

- ・過去の水害を調査し、避難経路・避難場所等をまとめた「災害ファイル」を作成し地域に発信。自分たちのみならず、地域住民の防災意識の向上に寄与した。



五馬中学校の取組
(災害ファイル)

② 佐伯市立彦陽中学校、八幡小学校(防災教育)

- ・佐伯市戸穴の高台に津波の一時避難所を開設。小中学校の発案をもとに住民や企業、保護者らが協力し手がけた地域一体の取組。



彦陽中学校の取組
(保護者・地域等との協働)

③ 中津市立沖代小学校(外国人との共生)

- ・技能実習生ら外国人が増えている中津市で、多文化共生を目指し、沖代小学校5年生が「外国から来た方々と一緒に安心して暮らせるまちづくり提言書」を作成。



沖代小学校の取組
(まちづくり提言書)

地域とともにある学校づくりについて

～県立高校における地域と連携した魅力ある学校づくり～

資料1-4

【取組の概要】

○県立高等学校と地域が連携・協働し、生徒の学力向上や学校の特色化を図る取組を行うことで、生徒の進路実現を図るとともに、地域に信頼され中学校に選ばれる学校づくりを推進

《これまでの経緯》

- H28年～H30年度 地域の高校活性化支援事業
- H31年～R2年度 地域の高校魅力化・特色化推進事業

成果

- 地域への理解や愛着が深まった生徒数が増加
- 高校に対する理解が深まった地域中3生保護者の増加
- 魅力化の取組により志願者増につながった学校あり

課題

- 地域へのさらなるPR活動・情報発信
- 外部人材のさらなる活用による徹底した特色化推進
- 入学希望者のさらなる増加

令和3年度の取組 『地域との協働による高校魅力化推進事業』

採択校18校（大分市・別府市以外の地域の高校）

A『地域の課題探究』プロジェクト

- 地域貢献に積極的に関わろうとする意思を持つ人材の育成
- 地域課題解決に係る探究学習を生徒のキャリア形成に反映

B『地域の活力創出』プロジェクト

- 地域行事への積極的参加による伝統文化保護活動
- 地域の活性化につながる特色ある部活動の推進

C『地域の学び連携』プロジェクト

- 地域の小中学校と連携した地域全体の学力向上への貢献
- 学びを通じた中学生との交流の成果としての発表力向上

R3年度の重点的取組 (持続可能な地域との協働体制構築)

地域人材の活用

- ・学校と地域とをつなぐ人材を発掘
→商工観光労働部など関係機関と連携
→キャリア教育における小中高の連携
→地域を担う人材づくり

コンソーシアムの構築

- ・コンソーシアム(共同事業体)構築に取り組み、
育成する力・育てたい生徒像の共有化
→持続可能な取組とするための組織づくり



実際の取組例

日田産のフルーツde至福のスイーツ企画に係るコンソーシアム<日田三隈高校>



大分空港のスペースポートとしての活用に向けた取組にあわせて、
科学に対する子どもたちの興味・関心を高めるための取組や探究的な学習を推進

○**STEAM課題探究特別講座**（7月10日キックオフ、R4年2月まで開講）

・「宇宙の視点から考える『食と暮らし』」をテーマに、高校生の
課題発見能力や分析能力を養う

・参加者数：42名

○**STEAMフェスタ**（7月22日）

・オリジナル宇宙食開発などのワークショップを通じて、
高校生向けに、社会課題の探究意識などを啓発

・参加校：25校 参加者数：194名（オンライン）

○**O-Labo STEAM教育講座**（7月17日から11月21日まで）

・科学の進展と宇宙開発をテーマに、「月移住計画」を実現するための
様々な課題に挑戦（全8回）

・参加者数：22名（小6，中1）

○**宇宙教室**（7月29日から ※今後も継続）

・杵築市、国東市、姫島村、大分宇宙科学協会と連携し、小学生向けに
水ロケットや火薬モデルロケットの製作などを行う

・参加者数：25名（累計）

○**O-Labo 宇宙科学体験講座**（8月7日～2月）

・小学生を対象、JAXA、企業、大学等と連携した講座（全7回）

・参加者数：各回35名



STEAMフェスタ（オンライン開催）



STEAM課題探究特別講座キックオフ



O-labo STEAM教育講座
第1回「月開発会議へようこそ」



水ロケットの製作（杵築小）

O-Laboの取組について (ISTS関連)

資料2-2

講座のねらい

- ・ I S T S 大分県大会に向けての機運の醸成や子どもの宇宙技術や科学への興味・関心、挑戦意欲の向上
- ・ 子どもの大分空港水平型宇宙港（スペースポート）計画に向けての機運の醸成

宇宙科学体験講座(スペースラボ)

宇宙に関する体験講座

- 対象：小学生
- 回数：年7回
- 会場：O-Labo
- 内容：JAXA、企業、大学等と連携した講座
- 時期：8月～2月



太陽系マップを作ろう



JAXAコズミックカレッジ

※実施講座

- ・JAXAコズミックカレッジ(3回)
- ・宇宙エレベーターのプログラム ・宇宙塵を探す
- ・てんこう開発について ・星と銀河の世界

STEAM教育講座(STEAMラボ)

科学の進展と宇宙開発に関する体験講座

- 対象：小学6年生・中学1年生
- 回数：年8回
- 会場：O-Labo
- 内容：講座
- 時期：7月～11月

※テーマ：月移住計画

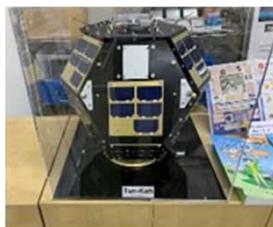
- ・生命の起源と進化を考える
- ・ロケット開発の先端技術
- ・月で楽しむ音楽をプログラミング 等



JAXA講師による遠隔授業

宇宙に関する企画展示

- 1 テーマ例 「日本の宇宙開発」
- 2 展示場所 O-L a b o
- 3 展示例
(模型) ・HIIAロケット等
・ロケット搭載エンジン
・環境観測衛星「てんこう」
(パネル) ・小惑星探査機はやぶさ2
・国際宇宙ステーション
・「てんこう」開発について
・スペースポート関連



てんこう



小惑星探査機はやぶさ2



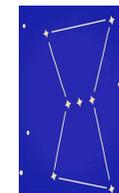
HIIAロケット、ロケット搭載エンジン等



星空観察会

- 対象：小中学生
- 会場：香々地青少年の家
九重青少年の家
- 回数：各青少年の家で計13回
- 内容：青少年の家の環境や施設(プラネタリウム、天体望遠鏡等)を活用した星空観察等

- ①季節毎の星空観察
- ②流星群の観察
- ③土星の輪の観察
- ④月の観察
- ⑤金星の観察
- ⑥火星の観察 等



香々地青少年の家

STEAM課題研究特別講座について

資料 2 - 3

STEAM教育を学ぶ上で「宇宙」をテーマ(教材)とし、課題研究を実践する

- ☆課題の発見から解決策の実践まで探究的な活動を通してSTEAM教育を学ぶ
- ☆グループワークと大学、民間企業の連携により、実生活で生きる学びにつなげる

R3年度の取組

☆7月10日 課題研究特別講座キックオフミーティング

- ・菊池優太氏 (JAXA)・八木原翔胤氏(塾講師) 講演
- ・グループワーク
- ・「STEAMサポーター」からのヒアリング



Slackを用いて研究を進める



【課題例】

- ・宇宙での水の確保について
- ・食品ロスをなくす保存食について (宇宙食への応用)
- ・宇宙での生活衛生について
- ・ジェンダー平等について
- ・ダムを用いたクリーンエネルギーについて 等

☆8月2日 課題研究班会議

キックオフミーティング時のSTEAMサポーター（企業・大学）からのプレゼンテーション

- ・生徒が各自で「課題発見」のレポートを作成
- ・レポートを参考に班を構成、各班にメンター（大学生・大学院生）を配置し議論

☆8月21日 特別講義①

- ・久保修平氏 (大分県先哲資料館) ・金子嘉宏氏 (東京学芸大学)

☆9月4日 特別講義②

- ・菊池優太氏 (JAXA) ・大谷忠 (東京学芸大学)



【今後の予定】

- (10月9日 中間発表)
- 11月6日 特別講義③
- 12月18日 特別講義④
- 1月22日 特別講義⑤



R4.2月開催

＜宇宙と科学の高校生シンポジウム(SSHS)＞
県内高校生(&一般参加も含む)向けの体験イベント

課題研究成果発表

連携

ISTSの関連イベントにて、課題研究発表を予定。
県内高校生がプレゼンテーション等を行う

特別支援学校の再編整備の進捗状況について

さくらの杜高等支援学校

知的障がいのある生徒を対象に、卒業後、企業への[※]一般就労を目指した職業教育を行う高等部[※]のみの特別支援学校

※ 一般就労：障がいのある人の就労形態の一つ
企業などで雇用契約に基づいて就業したり、在宅就労すること
本校では、企業の「障がい者雇用」で就労を目指す

- 設置学科：専門学科 学科名「産業技術科」
- 生徒数：1学年 **32名**（令和4年度）

▶ 学校の特徴

- 一般就労 **100%**を目指す（約600時間の職場実習）
- 地域や企業との連携による教育の推進
- 実務につながる資格取得（ビジネス文書実務検定 など）
- 県内特別支援学校の就労に関するセンター的機能

▶ コース選択

- クリーンコース … ビル・宿泊施設・公園等の清掃・整備、洗車、介護サービスなど
- 流通・販売コース … 販売・接客、商品・在庫管理、宅配、事務処理など
- 調理コース … 調理技術、調理知識、食品衛生管理、販売・接客など

建設中の校舎の様子（R3.9.30撮影）



～ 開校準備の状況 ～

- ・ 制服・校章・校歌の選定
- ・ 教育課程の編成
- ・ 学校説明会、入学者選考説明会を実施
- ・ 個別教育相談を実施

校舎外観イメージ図



別府地区特別支援学校



写真①：鶴見校

- ・ 古く薄暗いトイレ
- ・ 男女共用で仕切りはカーテンのみ



写真②：石垣原校

- ・ 改修が行われておらず古く重い建具
- ・ 暗い照明



写真③：南石垣支援学校

- ・ 思い切り走ることができない狭小なグラウンド
- ・ 駐車場がないため送迎時には保護者等の駐車スペースとなる

□ 別府支援学校3校（写真①②）

↓
鶴見校（肢体不自由）・石垣原校（病弱）は医療療育機関併設のため、**現在の場所で改修**（※老朽化等の課題解決を含む）

□ 南石垣支援学校（写真③）

↓
特別支援学校設置基準を踏まえ、**十分な広さのある運動場**を確保